

お知らせ・HOT コミュニケーション

寄付 寄贈

☆当別町ふるさと納税へ 7月納入分
計 2,721 名から 5,101 万円ご寄付いただきました。ご寄付いただいた方の氏名等は町ホームページに掲載しています。

☆当別町社会福祉協議会へ

- ▼匿名の方より 5,000 円
- ▼特定非営利活動法人ニルスの会より 1 万円
- ▼故) 松岡 セツ子さんより 100 万円
- ▼匿名の方より 5,000 円
- ▼匿名の方より タオル 111 枚、介護用紙オムツ 3 袋
- ▼佐藤 ヨネ子さん タオル 68 枚



お詫びと訂正

広報とうべつ 8 月号の HOT コミュニケーションで紹介した「地域貢献活動感謝状を贈呈」に誤りがありました。正しくは次のとおりです。

- 【誤】 当別舗道株式会社 (当別町)
- 【正】 新昌建設株式会社 (当別町)

夏色に染まる地域コミュニティ

地域ボランティアで構成される「ぺこちゃん」主催で「ぺこちゃん夏祭り」が、7 月 20 日にぺこのはたけで開催されました。子どもダンスやひょっとこ踊りがステージで披露されたほか、夏の



定番である流しそうめんが行われ、小川のように流れるそうめんを追いかける子どもの目は、生き生きと輝いていました。

ひきこもりの現状と対策を考える

7 月 25 日に、当別町社会福祉協議会主催で「ひきこもり支援セミナー」がゆとろで行われ、40 名が参加しました。講師は NPO 法人レターポストフレンド相談ネットワーク理事長の田中敦氏とピアスタッフ



の大橋氏・吉田氏。参加者は、ひきこもりに関する動向や体験談を聞き、当事者や家族への理解を深める機会となりました。

広 告

広 告

広 告

HOT コミュニケーション

応援と笑顔が満ちるサッカー大会

遊遊公園で「当別フットボールフェスティバル 2024」が、クルベラ・クラブ・デ・フットボール主催のもと、7月27日に開催されました。大会に出場したのは、道内外の小学1・2年生の16チーム。



コートに響く応援の声と、懸命に走ってゴールを決めた後の子どもの笑顔が、フィールドを彩っていました。

乾杯の音色と風の調べ

7月27日に、道の駅ビアガーデンが北欧の風道の駅とうべつで今年も開催され、町内の飲食店が出店しました。会場を訪れた人は、テーブルで乾杯の音を響かせ、芳醇な味わいのビールとともに、当



別のグルメを堪能。心地よい風を感じながら会話に花を咲かせ、日々の疲れを忘れて夏のひとときを満喫していました。

いざという時のために！

8月3日から4日にかけて「親子 de 防災体験」が旧当別小で開催され、8組の親子が参加しました。当別消防署員から火の取り扱いや救護について学んだほか、放水訓練も体験。夜には当別赤十字奉仕団



による炊き出しの豚汁を食べたあと段ボールベッド作りをするなど、防災や避難生活について学び、知識を深めました。

歓喜と熱狂が交錯

アジアンプロレス当別大会が8月6日に白樺コミセンで開催され、開会式では、畠中代表から社会福祉協議会松岡会長へ寄附金の贈呈がありました。試合では、迫力のある技の数々や時折交えられるユー



モア溢れる仕草に、子どもから大人まで大興奮。外の暑さ以上に体育館は熱気に溢れ、盛り上がりを見せました。

広 告

広 告

広 告

HOT コミュニケーション

親子で楽しみながらデジタルスキルを学ぶ

8月6日と7日に「夏休みかんたんデジタル教室」が西当別支所で初開催され、町内の小学1・2年生の親子8組が参加しました。1日目はICT講演会と「そろタッチ」の体験会、2日目は「Scratch」を使っ



て、シューティングゲームの一部を制作。親子で楽しみながらデジタルスキルを学ぶことができる貴重な体験となりました。

アートとスリルで夏の思い出作り

8月7日に、旧当小体育館と全久寺で、北海道医療大学学生ボランティアネットワークの学生が企画・運営した「子どもボランティア事業」が開催され、町内の小学生30名が参加しました。子どもたちは



体育館でちぎり絵を制作した後、全久寺で「日本一恐いきもだめし」を体験し、怖くて楽しい夏の思い出を作っていました。

英語で学びと友情を深める

株式会社アイエスエイ主催のもと、8月7日から9日にかけて、小中高生対象の「イングリッシュキャンプ」が道民の森 神居尻地区にて行われ49名が参加しました。英語を楽しみ、コミュニケーション力をアップさせるため、キャンプ



期間中参加者は常に英語で会話。新たな友達と2泊3日寝食をともにし、英語力とともに友情を育みました。

地域の足へ！自動運転バス実証運行開始

8月9日から9月8日まで行われる自動運転バス実証運行に先立って、8月8日に、ロイズタウン駅前で「自動運転バス出発セレモニー」が行われました。今年の実証車両は昨年の1台から2台へ増。そ



れぞれ別ルートを行き来し、1日に合わせて20本運行され、実用化に向けて1か月間様々な検証を行います。

広 告

広 告